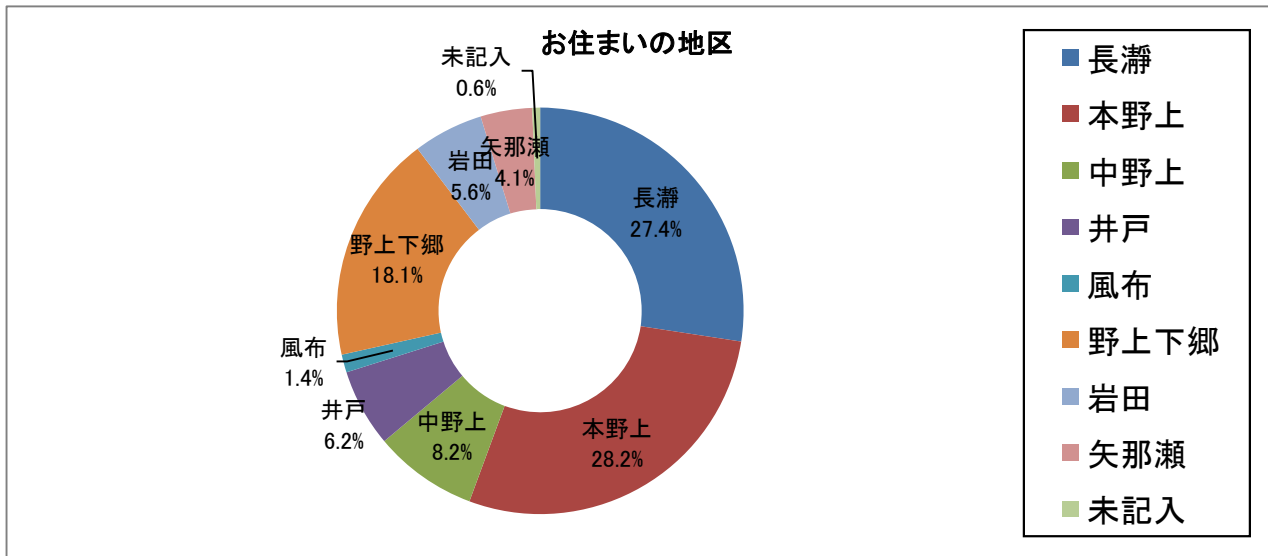


学校教育についてのアンケート集計結果

【回答者概要】

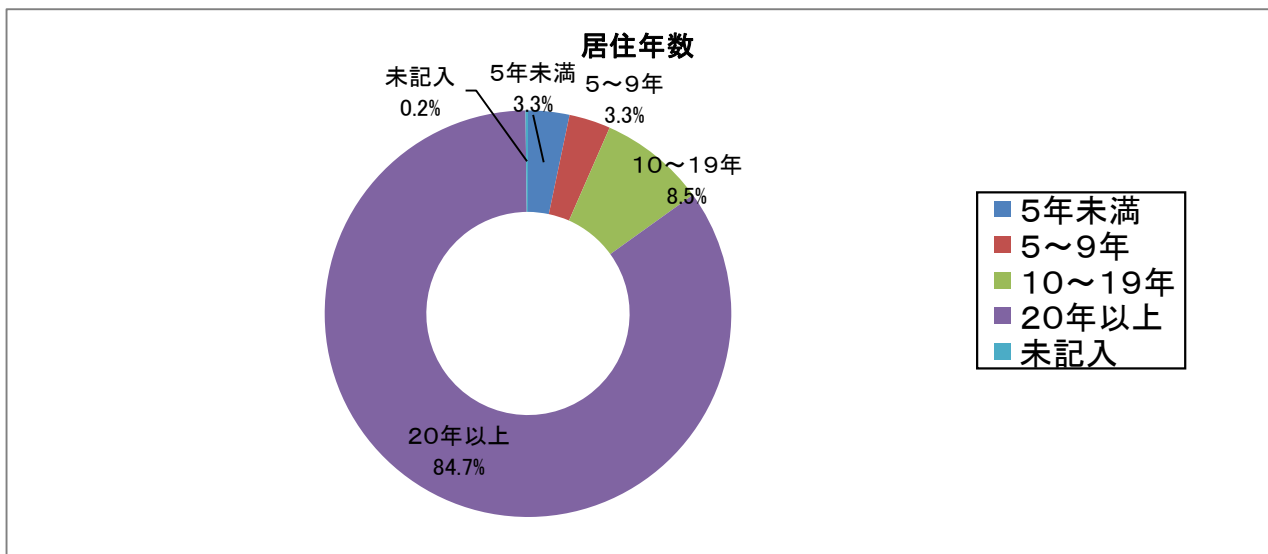
問1. お住まいの地区

	人数	割合
長瀬	133	27.4%
本野上	137	28.2%
中野上	40	8.2%
井戸	30	6.2%
風布	7	1.4%
野上下郷	88	18.1%
岩田	27	5.6%
矢那瀬	20	4.1%
未記入	3	0.6%
合計	485	100.0%



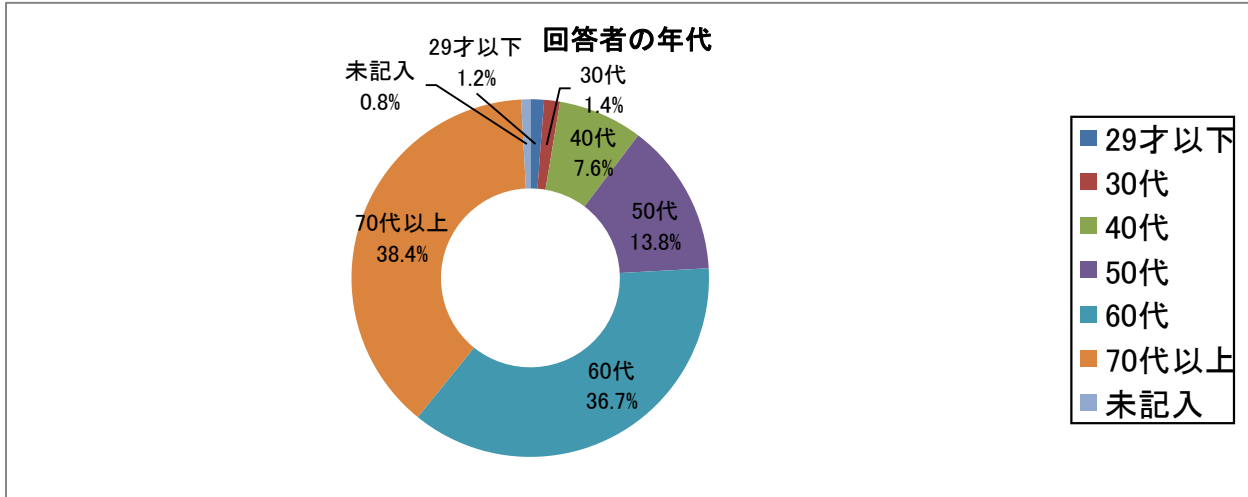
問2. 居住年数

	人数	割合
5年未満	16	3.3%
5～9年	16	3.3%
10～19年	41	8.5%
20年以上	411	84.7%
未記入	1	0.2%
合計	485	100.0%



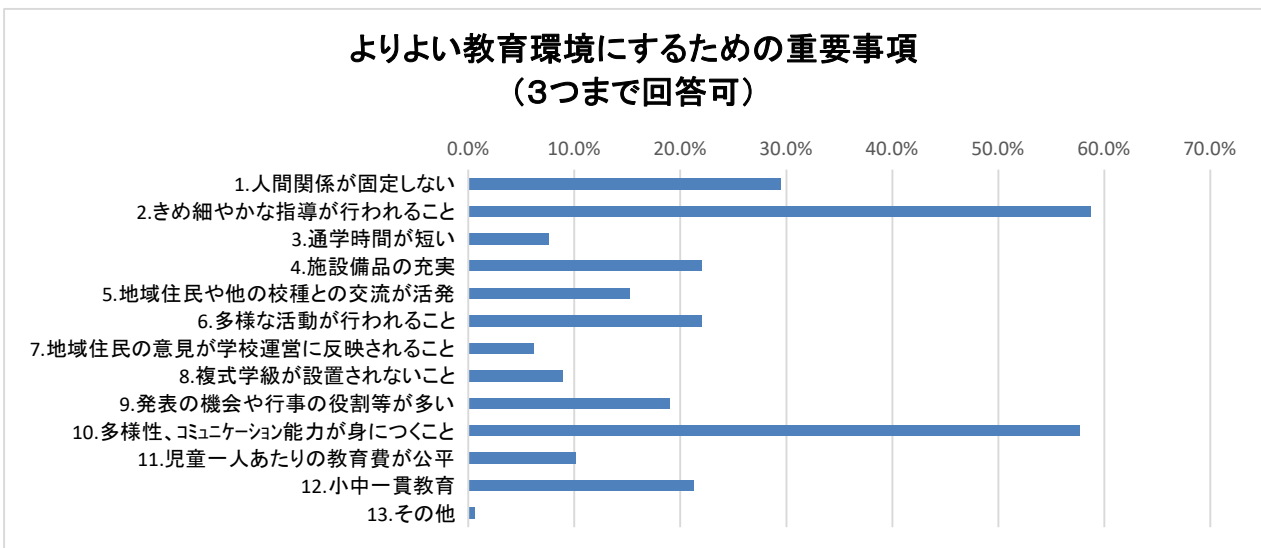
問3. 回答者の年代

	人数	割合
29才以下	6	1.2%
30代	7	1.4%
40代	37	7.6%
50代	67	13.8%
60代	178	36.7%
70代以上	186	38.4%
未記入	4	0.8%
合計	485	100.0%



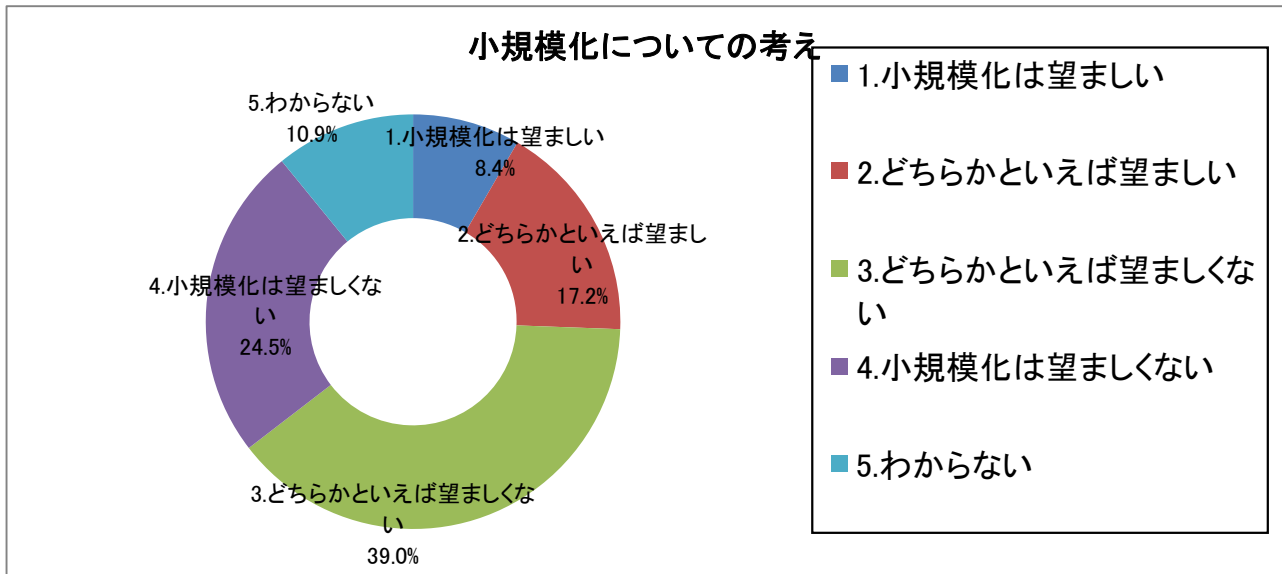
問4. 児童生徒にとってよりよい教育環境にするために重要だと思うこと（3つまで回答可）

	回答数	割合
1. 人間関係が固定しない	143	29.5%
2. きめ細やかな指導が行われること	285	58.8%
3. 通学時間が短い	37	7.6%
4. 施設備品の充実	107	22.1%
5. 地域住民や他の校種との交流が活発	74	15.3%
6. 多様な活動が行われること	107	22.1%
7. 地域住民の意見が学校運営に反映されること	30	6.2%
8. 複式学級が設置されないこと	43	8.9%
9. 発表の機会や行事の役割等が多い	92	19.0%
10. 多様性、コミュニケーション能力が身につくこと	280	57.7%
11. 児童一人あたりの教育費が公平	49	10.1%
12. 小中一貫教育	103	21.2%
13. その他	3	0.6%
合計	1353	279.0%



問5. 小規模化についてどのように思いますか。

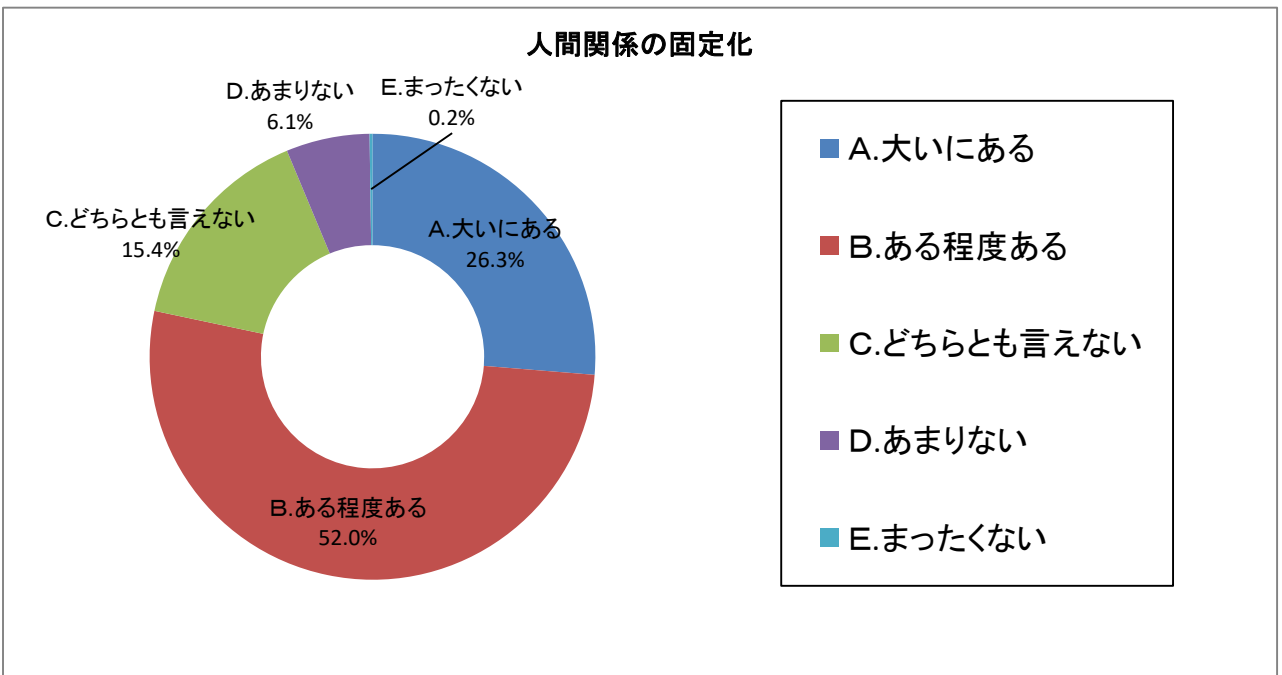
	人数	割合
1. 小規模化は望ましい	40	8.4%
2. どちらかといえば望ましい	82	17.2%
3. どちらかといえば望ましくない	186	39.0%
4. 小規模化は望ましくない	117	24.5%
5. わからない	52	10.9%
合計	477	100.0%



問6. 小規模化の影響について、それぞれの項目でどの程度影響かあると思いますか。

人間関係の固定化

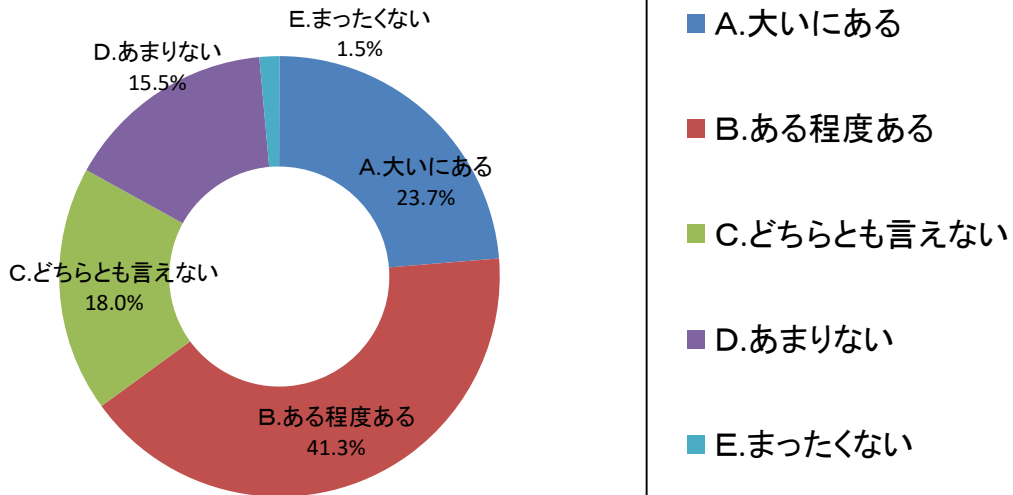
	人数	割合
A. 大いにある	126	26.3%
B. ある程度ある	249	52.0%
C. どちらとも言えない	74	15.4%
D. あまりない	29	6.1%
E. まったくない	1	0.2%
合計	479	100.0%



集団の中で切磋琢磨して学習する機会

	人数	割合
A. 大いにある	113	23.6%
B. ある程度ある	197	41.1%
C. どちらとも言えない	86	18.0%
D. あまりない	74	15.4%
E. まったくない	7	1.5%
合計	477	100.0%

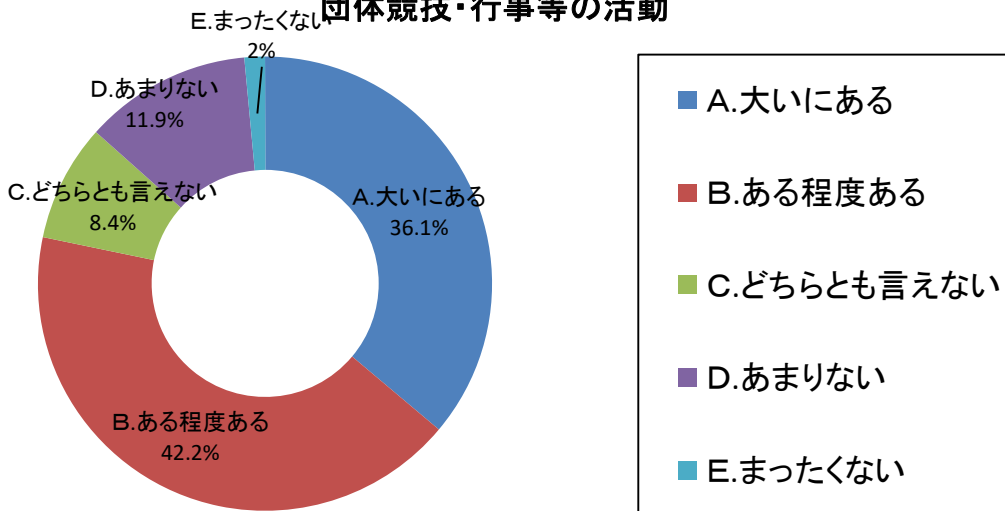
集団の中で切磋琢磨して学習する機会



団体競技・行事等の活動

	人数	割合
A. 大いにある	173	36.1%
B. ある程度ある	202	42.2%
C. どちらとも言えない	40	8.4%
D. あまりない	57	11.9%
E. まったくない	7	1.5%
合計	479	100.0%

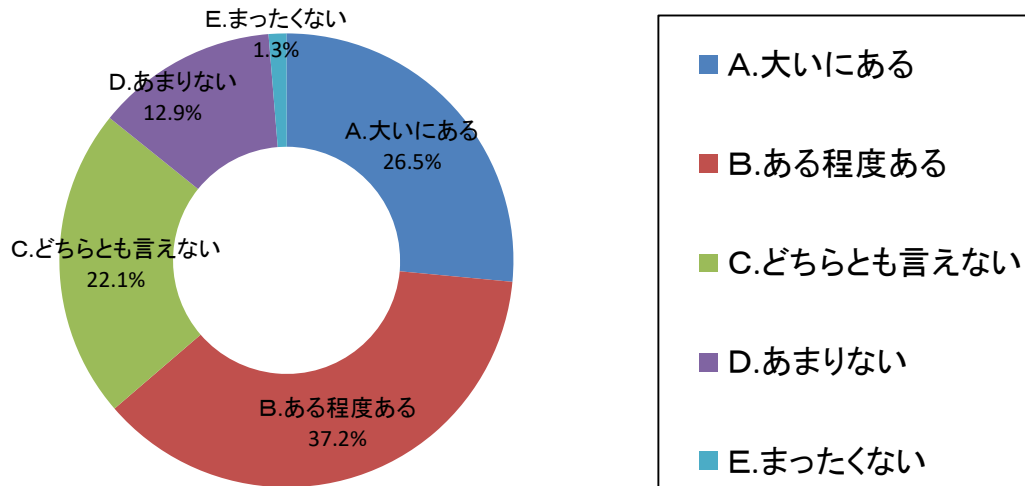
団体競技・行事等の活動



社会性・コミュニケーション能力の育成

	人数	割合
A. 大いにある	127	26.5%
B. ある程度ある	178	37.2%
C. どちらとも言えない	106	22.1%
D. あまりない	62	12.9%
E. まったくない	6	1.3%
合計	479	100.0%

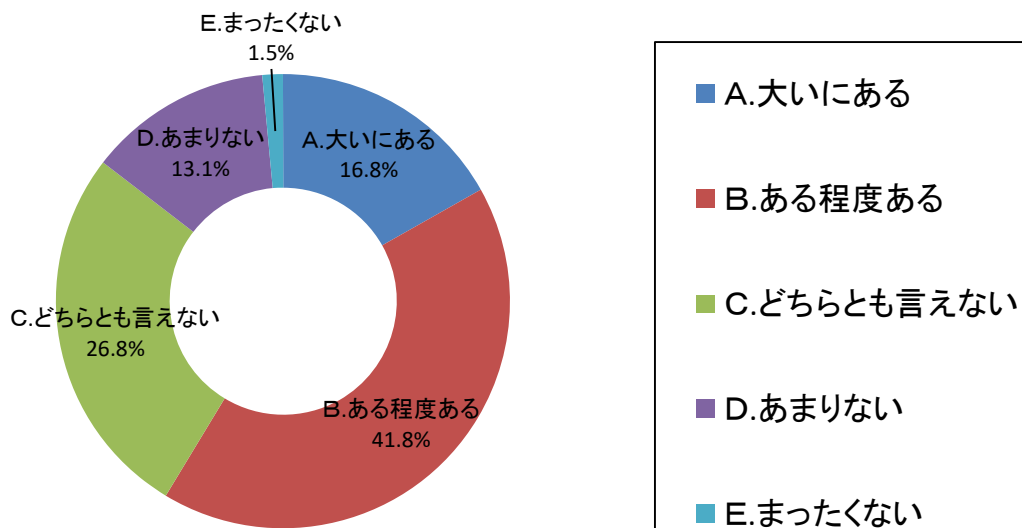
社会性・コミュニケーション能力の育成



意見発表などの機会

	人数	割合
A. 大いにある	81	16.9%
B. ある程度ある	201	42.0%
C. どちらとも言えない	129	26.9%
D. あまりない	63	13.2%
E. まったくない	7	1.5%
合計	481	100.0%

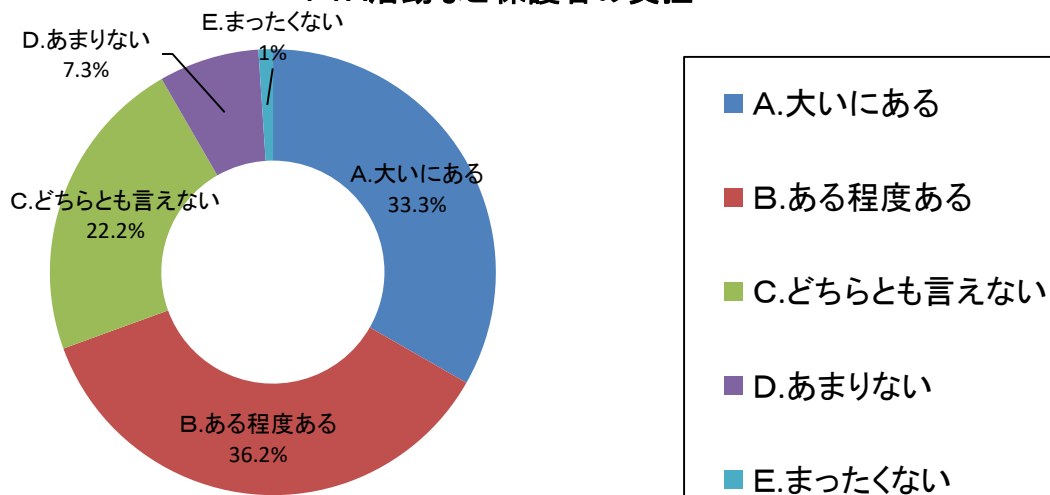
意見発表などの機会



PTA活動など保護者の負担

	人数	割合
A. 大いにある	160	33.4%
B. ある程度ある	174	36.3%
C. どちらとも言えない	107	22.3%
D. あまりない	35	7.3%
E. まったくない	5	1.0%
合計	481	100.0%

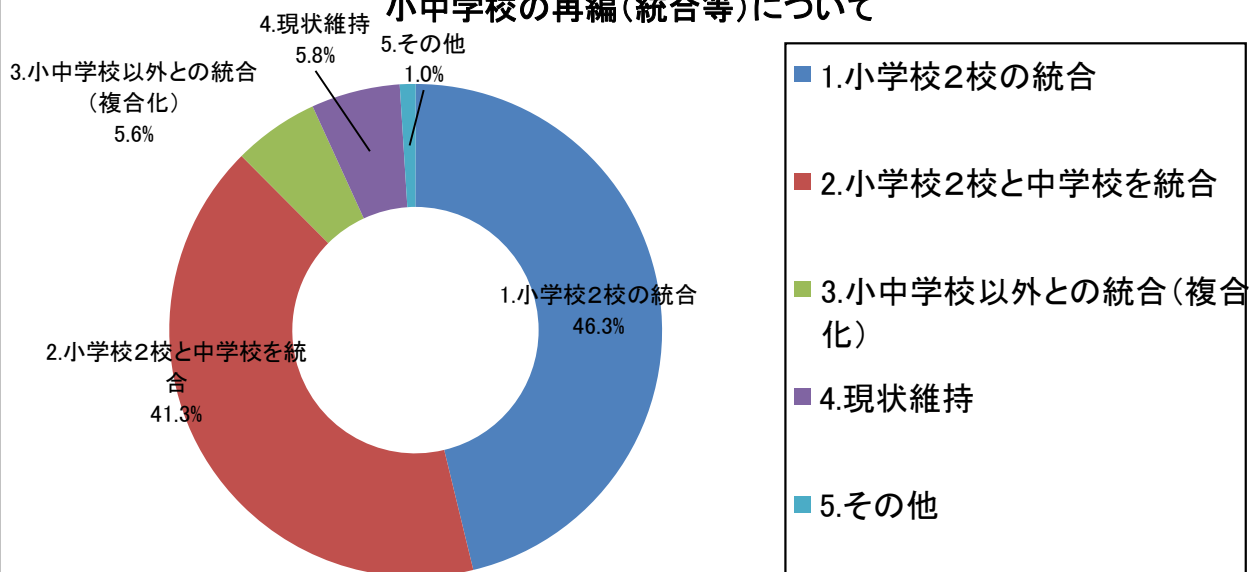
PTA活動など保護者の負担



問7. 小中学校の再編（統合等）について

	人数	割合
1. 小学校2校の統合	222	46.3%
2. 小学校2校と中学校を統合	198	41.3%
3. 小中学校以外との統合（複合化）	27	5.6%
4. 現状維持	28	5.8%
5. その他	5	1.0%
合計	480	100.0%

小中学校の再編（統合等）について



問11 自由意見 色なし;一小地区住民 水色;二小地区住民

<p>将来的には、小中一貫校が財政的にもよいと思います。子供達の通学面など多々有ると思いますが、町民が難しいと思いますがボランティア活動などでそのような問題を解決していけたらよい町になると思います。</p>
<p>少子化が進む統計を考えてのデータを元にした対応が出来ればと思います。特に予算が必要に成るので町民への負荷があり工夫がなければ、ありきではないかと考えられます。アンケート用紙にあまりお金をかけないようにとも…紙質が良すぎと思います。追記)住まいの記入で個人を特定できそうなのが心配ですが…気に成るアンケートを提出します。</p>
<p>将来的には小・中一貫校にすることをふまえ小学校の統合はできるのではないのでしょうか?1学年2クラスになれば授業参観等もしやすくなります。町の財政にも多少協力できると思います。又、学校は耐震工事が済んでいるので、二小を公民館として活用できると思います。体育館も音楽室も図書室もあるので。</p>
<p>ごく個人的な素人見解ではございますが、学校教育において、競争心をあえて後押しする必要はないと考えています。小規模学級に恵まれた面も多いと思いますので、あるがままを活かした教育を期待しています。</p>
<p>第二小の1クラス平均9.2人(R27では同3.6人の見込み)の現状を考えますと、第二小を第一小に統合する必要があると考えます。統合に反対する保護者の方々(第二小保護者に多いが)は、通学距離が長くなることを主な反対理由としていると考えられます。遠距離児童に対してスクールバスの設置と運用が検討課題になると考えられます。その後の将来は、学校施設の老朽化を避ける観点から、小中一貫校に向けて進めて行く必要もあると考えます。</p>
<p>1、早期に小学校の再編を進める。 2、スポーツ競技(体育祭)文化祭等について、近隣校との交流・協同開催を実施する。(大きな集団の中で、多様な人々と触れ合い切磋琢磨し、視野を広くできる。) 3、長瀬げんきプラザ、博物館など地域の施設を有効に活用する。(ラフティング、カヌーや野外活動に業者に協力を依頼する。) 4、町民の意見を広く求め、充分な検討して、その結果児童生徒の教育に有効なら小中一貫校へ進める。</p>
<p>高校進学した時に、ある程度人数のいた学校の方が生徒もひけをとらないでいられると思う</p>
<p>長瀬町から高校、大学に行くのは不便なので若い人は他の地域へ出て行ってしまおうと思う。</p>
<p>今の教員の生活を見てみると、ゆとりの時間が少なく、1日中、1年中仕事の事ばかりで気持ちの余裕がなく、他の社会と付き合う時間がなく、片寄った考えの教員が多すぎると思う。その為には、多すぎる報告や資料作成など減らし、仕事の基本である勤務時間を守る為にどうしたらいいかを考えた方がいいと思う。</p>
<p>1. 魅力のある町づくりに真剣に取り組んでいただき、活力のある町にしてほしい(町当局)。人口の増加につながる。 2. 他市町との早急な合併を望む。</p>
<p>田舎の小学校から年が増すにしたがって都会に近づいた時学習の内容について行ける様に密度の高い教育をしてあげると良いと思います。田舎の小・中学校でトップクラスの階級にいた子供も大きな高校に入ったりするとその位置が保たれない場合があるので小さい時からしっかり教育をして欲しいと思います。</p>
<p>難しいとは思いますが国際大学又は医療関係の学校が出来れば子供達や先生方、町民の将来が明るくなると思う。</p>
<p>保育園、幼稚園、老人施設、小学校・中学校の統合など</p>
<p>頑張ってください。</p>
<p>小中学校を統合して1ヶ所に集め2ヶ所の土地を売却して土場を建設して法人税を他町より下げて会社を建設してもらい税金を学校に町の財政に生かす。</p>
<p>小規模校の良さもありますが、クラス替え等をして人間関係などは変わらず大変な思いをした方もいると聞いています。子供だけでなくPTA活動も負担が増し学校に通学している間はいつも何かの役員をやっていた気がします。親の人間関係も大変だったです。学校の施設も中学のプール等、他の市町村から遅れていると思います。</p>
<p>子供は国家の宝です。この子供達にお金を掛けなければ国家は存続しません。高齢者に対する福祉も大切だと思いますが、これからの日本を担う子供達にお金を使う行政であって欲しいと思います。孫がいるおじいより</p>
<p>他の県からも「ぜひあの学校に行かせたい」と思われるような学校にして頂きたい。人数より内容。子供達自身がそれぞれ目標をもち将来「あの学校良かった」と次の世代にも繋げられるようにして欲しいです。老人ホームと共存であったり、子供達・お年寄り達も共に元気に元気ある生活。</p>

<p>社会性・コミュニケーションの育成の件、長瀬町での居住年数を考えて申し上げますが、「挨拶」と言うことばを添えると中学生の生徒は男女問わず一人でも三〜四人で歩いても必ず「こんにちは」と声を発してくれます。小学校の生徒は挨拶無しです。私の持論ですが「あいさつ」とは、あかるく・いつでも・さきに・つづけてと言う意です。</p>
<p>他人ごとのように思っていました、自分が生れ育った町にも、とうとうこの様なことが迫って来ている事に心が痛みます。将来的には避けて通れない事と思います。関わる方々のご苦労をお察いたします。統合しかないのでしょうか。</p>
<p>小規模を行うことで係活動や委員会活動、部活動を自らが主体的となって動く必要が出てくる。主体的となって動くことで人として成長する機会が生まれるので小規模化はとても良いと思う。小中学校は担任の先生の役割が大きい。切磋琢磨できる活動の設定をすることで生徒の成長を促せると思います。</p>
<p>・隣接する自治体の小中学校との連携をより密にすることで小規模校のデメリットをある程度緩和することはできないだろうか。・樋口駅に出入りする際、踏切だけでなく国道も一緒に渡らなければならないため危険ではないだろうか。町として支援し、二線橋の設置などより良い設備にすることはできないだろうか。</p>
<p>小規模校の良い面も捨てがたいと思います。総合的に考えると統合に向けて進めていくのが良いのかなあと思いアンケートに答えさせて頂きました。未来ある子供達に良い環境の中で学んでもらいたいと思います。</p>
<p>児童・生徒一人一人がその時代の社会体系の中心にいる。決して、一人（孤独）ではない。そのことを知って欲しい。そんなことが学べる教育であって欲しい。誰もが生き甲斐のある人生であるように。</p>
<p>小学校2校を統合してスクールバスを出したら良いと思います。</p>
<p>児童生徒の減少なのに昔のままの愛育班など残っていて反対している人もいます。現状を考えて欲しいです。</p>
<p>高齢化社会で子供の人数が減少している事は何年も前から気づいていると思います。子供の人数が少なれば学問でもスポーツでも良い意味でのライバル意識が生まれなくなるのでは…。お山の大将を作らない為にも多勢の中で教育を進める必要があると思います。子供育てをしやすい環境を一日も早く整えてあげてほしい。住みやすい長瀬町が必要。長瀬は教育にふさわしくない町になっている。</p>
<p>長瀬第二小学校の少数化は徐々に進んできていて、クラス替えもなく何年もきていますが、中学校入学時に第一小学校と合同となり、クラス分けをされた際に第二小学校出身者は少なく心細いと感じる生徒も多いと思います。スポーツ少年団等に所属している場合を除き第一小学校、第二小学校の交流を個人間で行うことは少ないと思いますし、昨今、第一小学校の児童数も減りクラス替えもないとお聞きしましたので、第一小と第二小との統合を前向きに考えていただきある程度同級生と切磋琢磨し運動会や他の活動においても成長する機会を与えてあげてほしいです。20代に全員なっておりますわが家の子供達の意見も聞きつつ回答させて頂いています。長瀬中学校の運動面、学力面での能力の高さはこれからも支えていてもらいたいと思います。近隣の町での小学校の統廃合も進んでいます。大変な事も多いと思いますが子供達の色々な経験の為にも宜しく願います。</p>
<p>ほぼ町の中心地にある中学校地に小・中一貫校は理想と考えます。第一小学校へ第二小学校の統合はぜひ早めのご検討を望みます。</p>
<p>教育を最優先に考え行事・スポーツなどの団体活動が活発に行える様考えて欲しい。小規模化が進むことにより児童の負担をかけてはいけない。児童が楽しくのびのびとした仲間を作りを考えてあげてほしい。</p>
<p>小学校2校の統合は必要。遠いところはスクールバス運行で対応。</p>
<p>これから人口が増える要素は何もない。したがって児童数も確実に減少するのみ。小中学校を分けず小中一貫校に建て替える方が良いと思う。たとえ時間を要したとしても。</p>
<p>財政面からの検討も必要ではないか</p>
<p>長瀬町として少子化が進む事がわかっているならなぜ町として少子化を止める政策方針を出さないのでしょうか 企業誘致・交通の利便性・共稼ぎ優遇・子育て支援など</p>
<p>外部からの情報が入りにくい地域において、小学校に関しては統合し、少しでも多くの同級生と刺激し合いながら学校生活を送らせてあげたいと思っています。多感な年頃の児童に、社会性や協調性を可能な限り提供してあげるのも、私たち先進の役割と感じています。</p>
<p>少子化が進む中、子供達は町の宝です。子供達がより良い環境で学校生活を送れるよう望みます。</p>
<p>小学校の場合、鉄道定期券補助又は、スクールバスの確保等、町からの予算確保をお願いします。小学校の統合は必要です。</p>

先生方も今、若い世代の人が多いたと思います…子供と大人（先生という立場の方）の”差”をきちんと学ばせてほしいなあとと思う時があります。子供達の発言や行動を見てきて、そう思いました。

小さな頃から様々な思考を持ち、いろいろな体験をするためには、小規模校では厳しい現状があると思います。数十人の同級生の中から、一生の友を見つけるのは難しいことであり、学級で育っていくと友達の作り方を知らないことも…。小規模ならではの良さもあるのかもしれませんが、せめて中学校は二学級以上あってほしいと思います。中学校の部活動も厳しい状況かと思えます。伝統、歴史のある学校をなくすのは、ツライことかと思えますが、今学が児童・生徒、これから学ぶ子どもたちにとって、いちばん良い選択をすることが、町や教育委員会にのぞむことです。過去の栄光やプライドなどつまらないことにこだわらず、必要であれば他市町村と協力していくことが大切だと思います。一番はそこで学が児童・生徒にとってよい方策、そしてそこに通わせる保護者の方々の思いを優先させてほしいと思います。

俺が小学校の頃は、国粋主義の馬鹿な教員がいて、左利きを右に矯正？された為、ヒモのリボン結び等が苦手になり、トラウマで技術家庭、裁縫等が嫌いになった。それは社会に出てからも、ずうっと不利に働く事となった。小四の担任が手の指が一本無い人で、そんな自分でも出来るんだからと、今の小学校では、授業ではまずやらせない危険なカリキュラム、鉄棒や跳び箱、マット運動をさせられた。これは、高校の時の話だが、他生徒に因縁を付けられたので、職員室に報告に行く、逆に男らしくないと怒られた。だけこの場合、俺が相手を殴った場合も、俺が処分されたのではないだろうか？何を置いても、先生の資質ってのが一番大切だと思うな。

小学校は第一第二統合して、駅近い第二へ統合した方が良いと思います。

少子化が避けられない現状では、小学校二校の統合はやむを得ないことだと思うが、統合したことにより子供達の将来にメリットになるよう充分に考えていただきたい。また、長瀬町で育った子供達がまた自分たちも子育てをしたいとおもえる町になることが少子化を止める一つの方法でもあると思うので、自分の育った場所が良いところであると誇りを持つよう発信していくことが大事だと思う。

現状だと第二小学校は各学年とも少なくとも複式学級にしないで6学年となっているようだが私としては早い時期に統合すべきと思う。そうなるとスクールバスが必要だが、2つの学校と運営しているより経費は少なく、子供達はバス利用することにより安全登下校ができる。第一小学校へ集めてはどうか。大きな変換となるか経費をこれ以上かけて町費（少なすぎる）の無駄と思える部分を少しでも早いうちに始めるべき。賛否両論あると思うが、いずれこのときは来る。議会でもこのことを論議しているだろうか。小鹿野町における大決断を見習う必要があると思います。

字は忘れっぽくなり下手になりました。最初に断っておきます。私の場合、孫が何になったらよいのか考えることはよくあります。すきなこと、自分に合ったことをするのがいいのかなと思います。幼児教育の大切さ、小学校の中学年位までの大切さを考えます。ですから、幼児とか小学校の先生はただいい学校を出ただけという先生はいかがなものでしょうか。心がすかすかでは…。心が上流、体が下流。

現状の小中3校体制を今後50年継続すると想定する場合にかかる経費と小中一貫校にした場合にかかるそれとを比較して検討する作業が必要ははず。少子高齢化が避けられない現状と、今後も劇的に子どもの数が増えて行くことを見込めない現状から、今の3校体制をずっと維持していくことはほぼ「ありえない」事と考える。ハコモノと、そこに関わる人件費を削減し、その分を小中一貫にすることで生まれるメリットの部分に投資する事の方がよほど有益であろうと思う。小中一貫校になることで想定されるメリット、デメリットを、これまで以上に町民に提示すべきと考える。社会情勢にあわせ、これ迄以上にスリムに、シンプルに考え、変化していく柔軟性があってしかるべきだ。その為の変化に対応する覚悟と自覚が、町にはまだ足りない。

児童・生徒数の減少はやもなく発生する費用を最小限にする事を前提として段階的なステップで全体的な対処方針を設ける。[ステップⅠ]第2小学校生を第1小学校に通わせ統合校とする。（スクールバスを使用する。）[ステップⅡ]学校以外の施設と統合し複合化を目指した土地買収を進める。（予算と土地地権者との了承取り付け）[ステップⅢ]各種学校、施設の耐用年数を長くもたせ複合化設備を設置、建設する。

・小規模校では、一人一人に対し、きめ細やかな対応ができ、個を大切にした指導ができやすいか？より多くの体験や考えに触れる為には、ある程度的人数が有った方がいいと思う。・遠くからの通学児童については、スクールバスを活用し、安全を図るべきだと思う。・職場体験等の他にも、幼、小、中の交流の場も作り、豊かな人間関係を築いていけると良いと思う。・打ち合わせやその内容確認などの下準備で担任の負担が多くなるか？地域住民として、生活科、総合科等に協力していけたら嬉しいです。

時代の必要で対応するしかありません。皆が必要と考える方向で検討下さい。

現在長瀬町の現状を見ると、人口の増加は見込めない。早く小中学校の再編を期待したい。

少子高齢化は自然の流れなので、数少ない子どもたちを一箇所に集めよりきめ細かい指導をしていく方向で考えた方が将来的には良いと思います。色々な面でメリットが大きいです。そのメリットを十分に生かしつつ、デメリットをいかに小さくしていけるかということも考えていきたいです。

<p>話が違うけど一小は人数が多く、いじめがあり、二小は少なく、団結力があり、いいなと思っていた。(子供が小学5年の時にいじめにあい先生に相談したが、生徒に話をするから学校にきたりその親にれんらく入れないでほしいと言われ、いじめてる本人に注意しただけであやまりにも来なかった。親にも子供にも) 相学校自体、良い印象が持てなくなった。</p>
<p>大変な時期ですので気をつけ頑張ってください。</p>
<p>数年先を考えた場合、小中一貫校が望ましいと思いますが、現状は早めに小学校2校の統合が必要か。その場合、スクールバスの運用も必要か。</p>
<p>実際に児童生徒をさせている保護者にとって、小規模化は深刻な問題です。それを打破するために、スポーツ少年団に通わせたり、習い事に通わせる等、保護者は苦心しています。本来であるならば、小中一貫校が望ましいが、長瀬町の財政を考えると無理かと考えます。長瀬町として、小学校1校、中学校1校を早く実現させて、教育の機会均等化を図ってほしいと考えます。蛇足ですが、「児童生徒の一人一人に目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすいこと」は、小規模化の良い面ではなく、教員資質の問題だと考えます。小学校が、1校となっても、教員の資質が向上しなくては、意味がありません。引き続き、教育委員会の皆様には、魅力ある教員の採用にご尽力をお願いいたします。</p>
<p>少子化が進んでいるので、野上駅を中心として小中学校を同じ場所にする事に賛成です。</p>
<p>町民が住みやすくないと人が増えない。イコール税金も増えないと思うので、人口を増やす事、若い世代を増やす事を考えてほしい。観光だけにお金を費やしても、税金を納めるお店、人がいなければ無駄遣いになっているのではないかな？</p>
<p>子供の9年間というのは、差が多いにあると思う。1年生に上がった子供が、中学3年生を見たらわかるだろうから。一小と二小は一緒でも良いが中学生は中学校でいてもらいたい。</p>
<p>(小中) 三校の合同運動会実施し、町民に見物させてみる。</p>
<p>若い世帯が住める町。例えば2世帯3世帯への補助や、長瀬町の子供達が地元から通勤できるような補助もあると良い。また、交通の整備。例えば、長瀬の矢那瀬から美里までトンネルを掘り、本庄から新幹線で都内へと通勤できるような道路を整備、確保する。リモートが進む中、観光との融合も視野に入れる。</p>
<p>今若者たちで結婚する人が少なくなって来ている。出会いも交流もないので、仕方がない。若者が参加できるゲームなどを町役場で考えたら結婚して家庭を持ち子供も増えることにつながる。子供を周りの人たちが見回るかたちになることも、安心して子育てができるのだと思います。とりあえずきっかけ作りをサポートして、若者に夢を持ってほしいです。</p>
<p>長瀬町に20年以上住んでいて感じることは、道路が狭くじゃり道が多く、雨が降ると道路が冠水し(袋区周辺) 大変な状況になってしまうにもかかわらず未だに整備されていない。又、子供達の遊ぶ公園もなく福利厚生も充実していないため安心して子育てができる町ではないので若者も他市へ転出してしまっている。このままではさらに少子化が進んでしまうため住民の生活環境を整え公園他を充実させて魅力ある町づくりを早急に進めていただきたい。</p>
<p>教育知識や周りの大人の愛情が未来に光を与えます。良い社会教育につながることを祈ります。</p>
<p>少子化で学校生活を送る事も大変になってきています。町の他の施設も老朽化していると思います。いろいろな方面を考えて、これから先子供の人口増が望めない場合は、統合と言う考えも良いと思います。金銭的試算等、問題もあるかと思ます。テスト的に一歩踏み出してみたらどうかと思います。</p>
<p>近年話し掛けても返事のできない若者が増えています。小中を通じコミュニケーションの重要性を教育してほしい。</p>
<p>複式学級は絶対ありえません。私立の進学コースの少数精鋭なら別だが、公立ではなるべく大きな集団で切磋琢磨した方がよい。小中一貫校でも優秀な子供は良いがカリキュラムから脱落した子供は？心機一転も必要かな？受験勉強は進学塾かな。</p>
<p>小学生の2小児童の減少が著しいので統合して、中学校はそのままよい。経費面でも良いと思います。児童数がクラスによっても男女比の問題があると思います。</p>
<p>子供達の挨拶がよく出来ている。1. あちこちに箱物を考えもなく点在するのではなく永い目(計画)で一ヶ所に集中すべきである。(小規模・多機能型) 2. 0地点に立って町全体を見直して欲しい。 3. 夏休み。秩父は2学期が8/26始まっているが、校内の環境が良くなっている今、早く始まっているのではないかな。</p>
<p>通学時間や通学人数を考えてください。学校生活の一環として！</p>

少子化が進む現状では、アンケートの主旨が今始まった事ではなく、すでに遅きに失す！！しかし、打つ手は非常に難しい課題です。小中一貫（統合）は、現況の安全、安心の通学を考える上で思いきってスクールバス通学も一考と思います。

長瀬町、観光の町ですが、プラス何かもっと出生数を増やせるというか、若者が住める魅力のある町、何かあるといいですね。観光も昔から変わらないし…

町民循環型バスにスクールバスの機能をもたせ遠距離通学児童を支援する。登下校の安全に配慮してあげたい。

統合すると通学が大変になる子が増えると思います。それにより保護者の負担も増える。（井戸からの通学すら大変でした。）少子化は仕方のない事なのでそれをなげいて大人の都合に合わせてではなく子供にとって一番良い方法を、導き出してあげるのが私達の役割だと思います。大規模・小規模に関わらずその子自身の可能性を見出し伸ばしていく教育を望みます。親子三代で長瀬で小中を過ごしましたが本当に素敵な町です。そんな町で育った子供たちはきっと輝く未来を歩むと信じています。

同じ環境で育てていくこと、子供は同じ子供（平等）であるのに、親及び世帯の収入の多少により、児童手当の有無が決まるのはどうかと思う。親の収入の多い・少ないは、その親の努力の結果であり、子供には無関係だと思う。小さな町であるので、小中一貫教育（目的を持ったもの。勉強であり、スポーツであり、ピアノなどの技術の向上）は望ましいと思う。校舎の改修や送迎など、経費はかかるものであるが、それは将来への投資であり、負担だけを将来世代に転嫁させるべきではない。子供の可能性を信じて、教育してほしいと思います。

設問自体が問題。少子化は目前に迫っている。いいか悪いかの問題を超えて進行している。それをどうするかが課題だ。小規模化が問題なら町村を越えた学校の統合も視野に入れなければならないだろう。今の交通事情を考えればバスで送迎することが安全でもあり（運転手が不慣れだと危険もあるが）皆野・長瀬中学も空想ではない。（学級編成について）クラスの問題についてなら少人数クラスも必要。英語や数学（小学校高学年の算数も）は実力差が出やすいから、習熟度に応じて少人数指導も必要。逆に体育ではサッカー、ソフトボール、ドッジボールなどゲームをしなければ面白みの生まれない球技は2チーム分の人数が必要。科目に合わせたクラス編成が大切だ。細かな配慮をした編成が大事だと思う。一概に「少人数学級が良いか悪いか」というものではないだろう。（アンケートについて）設問が練られていない。教育の問題については経験者（教員の退職者）などの意見を聞くことも必要。さらにいえば町長・教育委員会などに煙たい意見を述べる人にも意見を聞く機会を持たなければならない。多様な意見を聞く中で本当に必要な意見をとれば良い。教育は長い将来を見据えたものだと思う。

統合するにしても小規模校の良さも生かした教育が受けられるような学校にして欲しいです。

小学校と中学校を統合しスクールバスあるいは町営バスで登下校、町民も利用できれば見守りにも交流にもなる。施設は統合してもしなくても改修その他の工事は必要。ならば、今の中学校を改修・設備の増設など改良した方がよい。中途半端なやり方は、かえって税金の無駄遣いになる。

小学校における教科担任制が予定されている中、小規模小学校では教員配置上、実施が難しい面があると思われる。そこで、早急に小中一貫教育を進め中学校教員の活用をはかるなど児童生徒のこれからの時代に合わせた学力向上を図る必要があると思う。

アンケート用紙をもらったが回答するのに必要な資料や実体験が乏しく回答に手間取った事は否めない。はるか昔に子供は手を離れたので現在の教育現場の様子は孫や知人などを通じた話でしか知る由もない。なので、地域を歩いて子供達と接触した時に交わす挨拶やその時のちょっとした会話を楽しみながら、子供の今を知るしかない。例えば学校行事の度にいちいち私達のような世帯に連絡があるでもなし、尚且つスポーツ活動ばかりが目立ち、吹奏楽器の音が聞こえるでもない課外活動のあり方になかなか教育問題に関心を持つのは難しい。数年前に聞いた話だが、小学校で金融機関の関係者を招いて、子供にお金の講義をしたとか、こんな事をするのが今流の教育の仕方なのだろうかとか疑問に思ったことがある。金はあるが心がけない子供に育てないように願うばかりである。少子化問題＝小規模学級ということが取り上げられるようになって欲しい。しかし、問題になるのは経済的な課題などが挙げられる一方で本当に子供の立場に立った議論がないのが気がかりだ。この町の財政状況を考えると上記のような議論になるのは避けられないのであろうが歳出入の中身を見れば、もっと違った教育の予算編成ができるのではないだろうか。政者は将来を担う子供達のことをもっと深く考えて欲しいと思う。「大人は子供の友達」という幼児感覚を捨て、大人としての対処をして欲しい。とも思うこの頃だ。

小学校、中学校ともに隣接する秩父市や皆野町の小、中学校の子供や先生達と1wに1回程合同授業を行うなど接点を持たせ（将来は皆野小中学と統合するようになると思うので）皆野へバスで1日通学、秩父で1日通学、又は長瀬へ来校して授業を受けて頂くなどしたら良いではないか。

児童生徒の数が減少する（した）からといって即統合へと話を進めるのは如何なものでしょうか。（第二小学校の子供達の減少のことを考えておられるのかと思いますでしたがたしかに小規模化していますが統合を考える程ではないと考えます）小規模化した学校の良さを充分生かす方向での学校・教育のあり方をも検討してほしいと思います。学校は地域の文化・スポーツの中心という側面をも合わせ持つのではないのでしょうか。

<p>1. 小中一貫校に向けて秩父鉄道の路線はある程度利用は可能だが、特に現二小の通学区に於いて、スクールバスなどの運行を考えなければならない状況であるので考慮してほしいと思います。 2. 集団でのスポーツ競技（野球、ソフトボール、サッカー、バレーボール、ドッチボール）などのチーム編成は非常に重要な事で、将来のスポーツを通じての人材育成に大変な影響力がありますので充分検討して良い方法を考えるべきだと思います。</p>
<p>身近な地域の小学校が必要との考えも大事だと思いますが、小規模な小学校でも配置される教職員の数はそれなりに必要かと思えます。2校を合わせて充実した教職員にて細かなところまで見守ることが良いと思えます。残される施設については地域のコミュニケーションの場として広く多くの人に開放してもらいたいと思えます。</p>
<p>小学校2校の統合を検討する必要があると思えます。2校にかかる人件費、設備費などもあるし、コミュニケーションを大事にするなら個人的には思えます。</p>
<p>小中一貫となった場合の登校手段を考える必要があると思えます。スクールバス等…保護者に負担がないようにできればと思えます。</p>
<p>統合になった場合は、学校の利用化を町民と一体になり、町の公民館で使いづらい所を利用したい。</p>
<p>バスでの登下校</p>
<p>小中一貫校にすると少人数の中での人間関係が固定化してしまうおそれがある。（長い期間）いじめ問題を考えた場合、それは、好ましくないと思う。 里山留学とか離島留学などでいろいろな経験を1か月・2か月くらいで取り入れていくのはどうだろうか。</p>
<p>小中一貫となると新たな校舎建設や用地の取得など財政負担が増えることから小学校2校の統合で進めるのが良いと思う。統合にあたって空き教室などを考えると一小の校舎を使用するのが自然ではないか。あとは、二小の児童の通学方法を矢那瀬・岩田・辻・宮沢・杉郷・一小地域の唐沢をスクールバスで小坂・滝の上が電車とか。スクールバスも2台となると二小の現在の学校予算位は費用がかかってしまう。</p>
<p>教員の負担がふえると思うが使命感をもって頑張ってもらいたいと思えます。</p>
<p>小学校6年間を長瀬町で過ごした後、いずれは社会に出て行く中、更なる飛躍を期待なら、私立中も積極的に子供に働きかける様な指導を行ってほしい。町内で中学校3年間過ごすことと、先に町外にでいろいろな経験を早くからさせることで子供の将来の選択肢を広げることができる。</p>
<p>資料中に長寿命化工事、建替費用が40年間で合わせて約49億とあるが、交付金等を差し引いた町の持ち出し、借金は、どの程度を見込んでいるのか。 小中学校の施設が建替平均年数を超えることは以前からわかっていたと思われるが、現在の公共施設整備基金が2億円程度（町のホームページ）で対応できるのか。 町の将来を担う児童生徒の安全、教育の充実を図るため、小中学校の建替は需要であるが、小中一貫校とする場合、建替場所の確保、財源など課題が多い。 仮に、二小を廃校にする場合、跡地利用、避難場所、地域コミュニティなど、学校教育問題だけではなく多角的に検討していく必要がある。</p>
<p>統合に時間と予算が必要であっても長い目で見れば少子高齢化が避けられない以上、9年間のカリキュラムの中で長いスパンでの余裕をもった教育は子供達に良い環境を及ぼすのではないかと思います。また、少人数よりはある程度の人数的な縦・横のつながりをもちながら人間関係を築いてゆく方が将来的に役に立つのではないかと思います。</p>
<p>通学に時間を要する地域がある為、又、児童生徒数の減少の面から統合化やスクールバスの検討はいかがでしょうか。統合による経費削減、スクールバスによる安全な登下校が考えられるように思えます。</p>
<p>子供は国の宝。将来を担う子供に期待して人材育成が何よりも大事。学校教育はその根幹であり根張の良い苗を育てることが、やがて大樹となることを目指しましょう。秩父郡市圏内から進学、就職等で外部へ出た時に感じることは、狭い閉鎖社会で暮らしてきたことでした。競走社会の中で生きるためには、基礎体力とも言うべき小中学校の初等教育は、重要であります。次世代への投資と考えても教育環境を整えることが、今の大人たちの重要な役目であります。政治にかかわる方、行政に係わる方、もっと知恵を出して下さい。汗をかいて頑張ってください。</p>
<p>教員の負担軽減を考慮出来得ると成れば、少子化が悪い面だけではないと思えます。</p>
<p>小規模校が多いと色々な経験が多くかかる様な気がします。なるべくまとめて運営（できれば）していただいた方が良いと思う。</p>
<p>課題は尽きないと思えますが他市町村の事例などを参考に取組んでいただけたらと存じます。</p>
<p>町の人口が減っている中、現実的に税金の中から捻出していくのは厳しいと思えます。縮小していくしかないと思えます。経費削減を考えて行く必要があると思えます。役場職員の人数が多いと言う声をよく聞きます。まずはそこから……。</p>
<p>子供が中学生の時「金がない」「インクがない」等の理由で、社会科の資料がカラーから白黒になり、写真や図が見にくくなったことがあります。せめて学習で必要になるものは、経費削減をしないでほしいです。学校行事において大規模な事をして、お金をかけるのではなく、学習面で生徒に「お金がかかる。」の理由で制限をかけるような事はしないでほしいです。小規模校になったとしても子供の教育の質は落とさないでください。</p>
<p>保育園・幼稚園も含む（将来）一貫校。小さい時から年代別や色々な人に会い、はげまし、きづつき、育つ人間と思えます。家族以外の人間とふれあう必要があるのでは。いじめる子といじめられる子が6年間一緒に生活するのは厳しい。</p>
<p>地域から学校が消えるということは、その地域が寂れるということ。しかし、1クラス10人にも満たないとなってくると、子供にとってもよろしくないのではないかと思います。</p>

24年4月2日から25年3月31日、25年4月1日から26年3月31日まで第二小学校のスクールガードリーダーを夫がやらせて頂き杉郷宮沢の児童達と毎日一緒に楽しく事故もなくその子達が20才を過ぎ今もお会いするとあいさつをしてくれます。良い経験が出来ました事お礼申し上げます。

一小及び二小の数年先を考えれば、出来るだけ早く現在の中学校の西側、保健センターを含めて土地を小中一貫校を見すえた用地の確保を町は努めて欲しい。既に公立の小中一貫校は実績を挙げている。教育では全町民で一部の費用を支えるべきであり、直ぐにでも寄付を募りはじめ5年先くらいに開校して欲しい。

町立の学校3つの施設管理に、たぶん十分な資金が投入されていないはず。以前「体育館の雨もりの修理があとまわしになっている」と聞いたことがある。人口6,804人(2021.6.1現在)の自治体で無理なく持続可能な選択をできるだけ早く始めるべき。上記問7の2が最良のオプション。一小への統合、二小への統合には2つ地域に大きな不満が残るはず。移行に時間がかかるなら、なおさら早くカジを切ること。

小中一貫校にする場合、スクールバスを考慮する必要があると思うのですが…一考下されたく思います。

町の財政とのバランスや統合の内容や手順についてOPENに議論してゆく必要が有ると思います。

人数が少ないと通学班なども人がいなくてあぶないと思うので遠い地区や人数が少ない地区は送迎が必要になってくると思います。学校を統合してバスを出す等があった方が安心だと思います。送迎ができる家ばかりではないので…。地元に働ける企業が少ないので若人はでていってしまう。人口が増えるようになにか手をうたないとどんどん減ってしまうので学校も小規模にするしかないのでは。都会から田舎にと対策はとっていても、若い世代がこなれば(定年後の人では)人口はそれほど増えない。

3校の耐用年数を考えると、中学校が1番古く、小学校が規模から考えると一小到統合するのが良いと考えると、現在の一小的位置が長瀬地区に片寄っている。交通面、鉄道利用を将来の通学のことを考えると野上駅の近くに小中一貫校を新たに進めていくことが、一番良いと考えます。

少人数だから「無理だ」と思わせないようにカリキュラムを組むなどして欲しい。

児童生徒数の減少は仕方がない事だと思います。児童生徒数により空いた公共施設は高齢者用施設として利用すればと思います。

近くに学校が無くなり廃校になると校舎はいつまでも有るのはさびしくとも仕方がない事。48人学級で勉強した者にとって、6・7人位のクラスはもったいない様な気がします。

・現状では、義務教育学校として、長瀬中学校に、第一小・第二小を統合することがよいと考える。 ・学校は、その地域の文化の中心であり、その地域から学校がなくなることは、とても残念であるが、この少子化ではどうにもできない。 ・義務教育学校として発足後、第一小・第二小の施設は、企業誘致などで、人を増やすことも考えられたし、特に、テレワークなどで東京などからの誘致ができるととてもよいと思います(簡単ではありませんが) ・小学校だけの統合はやめた方がよいと思います。

少子化については10年以上前より懸念されておりましたが、この間まったく議論がなされず、今日に至った様に思います。本来、第二小学校に入学予定であった女子児童は1名のため、急遽第一小学校へ入学されたとお話伺いました。こうした事態も踏まえ5年、10年先を見越した対応を早急に行う必要があると考えます。

子供達が楽しく学べるよう考えて下さい。すてきな大人になってほしいと思います。

長期的にみて長瀬町では子供の減少は問題ないところです。いずれは縮小せざるをえないでしょう。出来れば多世代との接触の機会も子供の成長にはかせないと思います。ならば学校と地域の施設との統合は有意義だと思います(社会性を育てる上で)。一時的には財政への負担はありますが、長期的にみれば有効な選択だと言えるでしょう。但し、統合するとなれば幾つかの親への負担が考えられ、その点を考慮する必要があると思います。

他の地域でも同様の問題をかかえている町があると思います。統合するにしても、なんらかの欠点不合理が少なからずあると考えられるので他の事例を調査して極力少なくして欲しい。生徒主体で進めてもらいたい。

小学校・中学校を統することによって、社会においての人間関係を勉強する機会が増えると思う。小学生の送迎にはバスの運行が必要と思う。小学校2校においては他の施設に利用することが望ましいのではないかとと思われる。

過疎化が深刻になる現在、今の小・中学生にとっては貴重な人材であり立派に成長して頂き、将来なりターンして町の核になってもらいたい。そのためには、町自身か子供たちに何をしてやる事が重要なのかを考察する事だと思う。これからの時代はAIやコンピューターや5G、6Gなど環境がガラリとかわる。しかしながら人間本来の生き方は変えられないと考えます。一人一人の能力は千差万別です。子供達には自分の興味を持ったもので好きなものをおおいに学んでもらいたい。一例を示せば調理実習でそば打ち体験や餃子作り等々自作パソコンもいいのではないかと。講師はリタイヤした経験者がたくさんいると思います。たくさんの方の機会を与えることが重要であると思う。

<p>こらからの教育はオンラインにより、遠くの子供達とともに学習を進める機会も可能である。タブレット等の活用で第一小と第二小とのオンラインによる合同の授業（同じ科目・同じ教科）で社会性・コミュニケーション能力等を高めることも統合する前から進めておく必要がある。生徒会でもオンライン会議の活用で相方の意見を交換することもできる。可能な限り、現状の中でできるものから進めておく必要があると思う。</p>
<p>少人数も良いがお互い切磋琢磨し競い合う事が良いのでは</p>
<p>将来に向けて小学校同士の交流の場を増やし、行事など合同に行うなどしては？どうでしょうか？</p>
<p>二小の卒業生です。今の状況で二小を存続させる意味はありません。元々このアンケート問6に全て該当しており、子供の人格形成にも良い部分がありません。むしろ悪影響ですらあります。自分が通っていた頃は今程児童数は少なくありませんでしたが、やはり長期的なイジメ等ありました。更に人間関係の入れ替わりが少ない為、入学時点（小1）で上下関係が出来てしまっており、弱い子は6年間やられっぱなしです。下手したら幼稚園、保育園からやられ放題の子もいると聞きます。井の中の蛙になっており、中学入学後になじめない子もいました。自分は卒業生ではありますが、二小の存続には疑問です。学区内の地域性もありますが閉鎖的にもなって来てると思います。このままだと樋口地区の人口減少にも歯止めはかからず二小の存続どころではなくなると思います。</p>
<p>広報ながとろ6月1日発行の中に「今後の学校のあり方について」が記載されておりましたが、調査対象以外の町民の意見のアンケートが今回無作為抽出した一世帯の一人です。一般の人の意見も調査してから、広報に結果報告していただきたいと思いました。※私の地区では、小中学校の後援会、会費、在校生がいなくても、応援しております。</p>
<p>長瀬町役場は人口の割に多いのではないかと。もう少し人少なくても今の仕事くらいでは出来ると思う※すぐやる課を作ってほしい。</p>
<p>長瀬町の今後が非常に気がかりです。</p>
<p>1年でも早く小学校の統合をお願いしたいと思います。</p>
<p>小中一貫校にし、教育に力を入れて、9年で子供達の学力向上をめざし、教育に特化した町として認知されれば、町の若年層（教育の質をもとめて越してくる若い夫婦）も増え、町も活性化するのではないかと思います。</p>
<p>【問7】小学校2校の統合案を早く示す時期です。誰もが近くが良いと考える。私案としては、中間点に新設する。【問8】今、世の中が不安定で危険性が潜んでいる。本当に真剣に子供達の環境を考える時です。そして、今少年時代を十分に楽しんでいるのだろうか？何かとても大切な忘れ物をしていないかと感じる。</p>
<p>小中一貫校にすることで、人間関係が固定化されず、横の関係だけでなく縦の関係を築くこともでき、社会性やコミュニケーション能力を育むことができるので、これからの国際社会で活躍するための基礎となる小中学生時期には大切なことだと思う。</p>
<p>少子高齢化が進んでいることは、社会問題として仕方がないことですが、今、長瀬町に住んでいる子供たちがこれからも住み続けたい、大学などに通うために外に出ていても戻ってきたいと思う街づくりをしていただきたいと思います。</p>
<p>長瀬第一小と第二小では、人数が違うため中学校に入ってから差が出来ると思う。人間関係や競争心とかに違いがあると思う。また、小学の運動会等でも2校統合し、にぎやかにいった方がよいと思います。</p>
<p>人間関係の固定化は、価値観の多様性が失われやすいのが心配だ。幼い頃（考えの固定化前）に多くの価値観に触れておいた方が柔軟な考え方や将来の選択肢が広がるのではないかと。</p>
<p>小学校は地域の中心であり統合の必要はない。</p>
<p>子供が減っていることであらゆる事がなくなっています。地域のスポーツ大会・子供会の旅行・学校のバス遠足・日帰りのスキー旅行など。子供が減っていても少人数でもいじめがありました。特に転校生、高学年・中学年でも仲間はずれがあった様です。世の中が悪くなり挨拶する子がだんだんといなくなりました。他所から来る方は、長瀬に来ると皆が挨拶してくれると褒めていた頃がありました。上の子と下の子で開きがあり、親の考えも違いがあります。下の子のときは大変な思いもしました。コロナの状況の中で子供が未来に夢・希望をもってほしいと思います。</p>
<p>難しい問題です。できれば統合せず今の状態を維持し、子育て世帯が増えてくれるのが望ましいです。統合し、二小が無くなった場合、若い世帯が二小区域からいなくなってしまうのではと思います。現に二小区域で頑張ってくれてる方もいますが商店などもなくなっている状態です。このまま子育て世帯が町内に増えず、子供の数が減少するばかりならば、問7、1もありなのかとも思いますが…。問6 学校の小規模化の影響は、小さな学校の中でも少ない中でも大切な経験ができると思っています。子育て世代、これからの子供達のために良い方へ向かうようよろしくお願いします。</p>
<p>学校ごとの将来推計を見て、20年後の減少に驚きました。これは、長瀬町だけではないと思います。隣の皆野町の状況も検討して、この際、町を合併して1つの学校に通うことにした方がよいのではと思いました。</p>
<p>小中校一貫の場合、中学に拠点を置くので一小区域は範囲が広いので電車などを利用しなければならない。小学校統合なら二小からバス送迎が可能になるのではと言う意見が多く聞かれます。</p>
<p>少子化・高齢化となり統合など考える事これはしょうがないと思いますが、同時に若い方がこの町に住みたい、ここで子育てをしたいと思う様な町にする事も大事ではないでしょうか。</p>

長瀬町の人口が年々減少している状態の中での子供さんが少なくなるのは当然のこと。第一に若い人たちを町に住んでいただくよう、町の政治も考えなおす所に来ていると思います。長瀬町の政治と学校教育はつながっていますから。

今の教員は多忙すぎる。スクールサポーターを増やして教育に専念できる様にしてほしい。

小学校の統合なら現中学の近くに。通学は駅の近くに家がある人は電車、遠い人はスクールバス。費用が49億円必要であるなら、皆野町と一緒に学校に

二小などは何十年も前から一組だけの学年もあり、一学年から六年生になり卒業するまで同じ人たちだけの交流で気になっていました。クラス替えをする事で新しい友達がつくれたりもして人間関係も広まることから一小、二小が一つになることで多勢とのつきあいができてその中で友達も増えるのではないかと思います。

少子高齢化が進む事は、今までに分かっていた事ではないでしょうか。町長が統合しないと言うお考えで町長になられ、賛成意見が多いと聞いたことがあります。統合は必要かと思う。施設の他にも、バスの手配も必要になるかと思っています。良い方向へむかい、学校教育が出来る事を願っております。

就学児をもつ年代から遠ざかると、いま何が学校で必要なのか？がわからなくなります。以前は通学班の子らが集まると賑やかだったものです。今はしんとして、声もなく集まり、登校していきます。子供達とお喋りしたことはありませんが、見かけると挨拶してくれます。家庭での躰ばかりではなく、学校での教育が行き届いているのでしょう。これからも良い子供たちの学びの場でありますように。